

第2回 猪名川町北部地域医療のあり方検討委員会議事録要旨

番号	発言者	意見内容
1	事務局	(1) オンライン診療の実施状況について資料を基に説明。9月に杉生診療所から患者宛に今後の希望調査や説明書・診療方法の変更について送付し、町職員も杉生診療所で患者への説明を行ったこと、10月開始予定が延期となり、直接診療となった旨を報告。オンライン診療について11月7日から毎週木曜日の9時～12時で15分間隔の予約制で実施し、予約は受診時もしくはせいふうクリニックに電話で行い、予約のない場合は、その人が杉生診療所の患者で状態が安定し、医師が許可した場合で予約枠の空いた時間に受診可能の旨説明。診療状況は、患者が診療所診察室で看護師介助のもと診察を受け、医師はせいふうクリニックの診察室でタブレット越しに診察を行う。支払いは杉生診療所、薬の受渡しは配達など個人の希望方法で以前と変わっていない。診療風景は配付資料にて説明。また、11月からオンライン診療を受けた患者アンケート結果を説明。今後の課題として、オンライン診療と直接診療またその後オンライン診療に戻る流れがスムーズに行くのか、それを受けた感想がどのようになるか。また体調不良や平時と違う症状がある場合、せいふうクリニックや他の医療機関で受診が必要なことも課題と説明。
2	A委員	オンライン診療は良い結果が出ているが、アンケート数が少ない。オンライン診療の回数は対面で実施していたとおり、木曜日の診察の週1のペースでやっているが、増えるということがあるのか。
3	事務局	患者が増えるようであれば検討するが、予約制の日時がいっぱいになることがないので、木曜日の午前中のみの実施である。
4	A委員	自分が蜂に刺されたりとかマムシに咬まれたりした時など、聞いて判断・治療してもらったが、できなくなっている。自分の命にかかわるようなことがあるので、怖いと感じ、それを課題としては思う。もう1点は、先生に日常会話的に話を聞いて欲しいことが15分の中で、画面で先生と話をすることが患者の緩和ケアになると思うが、その辺が少し聞けない。
5	事務局	診察では、話は十分されている印象。医師が聞こえているかの確認を医師がしており、医師が聞いてくれるので、話しやすいという回答がある。看護師の印象としても割合、患者は話されているということだった。アンケート回答で「聞こえにくい」とあったが、直接話をするのと、パソコン画面から音がでるとのは違う点があり、この場合、看護師が医師の言葉を患者に伝えたり、医師にゆっくり話してもらうようにしている。診察時間15分で予約しているので、話ができなかったことはないと思う。
6	A委員	患者がオンラインに変わり足が遠のいていると感じた。もう1点、個別だとオンライン診療はあまり希望はないということ。それは家に来られると、片付けもあるので、困ると。何をしても良いかわからない、オンラインを家ですることの不安が大きい。もう少し慣れてきたら、「できます」という話になると思う。その辺の改善を考えていかないといけないと思う。
7	B委員	オンライン診療は一对一の形と思うが、家族と一緒に受けることが可能か。
8	事務局	診療は、医師が診療所にいないだけで、特に何も変わらないので家族と一緒に診察室に入られる人もいる。
9	C委員	オンラインの診察画面を大きくする予定はないか。
10	事務局	今年度はこの画面の大きさである。
11	C委員	患者は委員同年代の方が多く思うが、画面が小さいように感じる。
12	事務局	医師側は患者を診るため画面を大きくしている。患者に画面の大きさを聞いたが、特に画面を大きくする必要はないという回答だった。
13	C委員	患者の様子は、どのような感じだったか。
14	事務局	見た感じでは違和感はなく、医師も通常の診察と同じように話をしていた。逆に「聞こえますか」や「わかりますか」など、丁寧に聞いている印象があった。患者は、少し緊張していたが、受診後、通常の診療と変わらないと安心された人もいた。少し、医師の声が聞こえにくく、心配された方がいたため、看護師が医師の話した言葉を伝え、医師にも「少しゆっくり話をしてください」と伝えている。聞こえの部分改善できるのかどうかがある。
15	C委員	家族で患者を連れてくる件数はどのぐらいか。
16	事務局	家族が連れてきて、診察室には患者1人で入っている。
17	C委員	家族が内容を医師に伝えるのに一緒に入室するのと思ったが。
18	事務局	家族の付き添いがある人は一緒にしてもらえるが、11月は家族が来ても帰って、1人で診察に入っていた。1人で診察室に入らないといけないということはない。
19	C委員	オンライン診療の時間はどれくらいか。
20	事務局	常に電源が入っているので、患者が入室し看護師が血圧や体温を測り、「血圧と体温がいくらです」と医師に伝え、すぐに診察が始まる。
21	C委員	普通の診察はすぐに終わるが、対応に15分とってもらえることがオンラインの良さである。
22	B委員	例えば肺炎の人や肺炎かどうか判断できない患者がいて、レントゲンが必要な場合、対面になる。この場合、医師が対面でせいふうクリニックに来るよという形になるのか。
23	事務局	診察部分は、医師の領域になるが、オンライン診療は体調が悪くない人が対象になるため、患者を医師が見て、これはとなった場合は、例えば次の日にせいふうクリニックへの来所や緊急の場合は川西リハビリテーション病院に受診をすすめるなど、状態によって変わる。
24	A委員	動画で記録は残さないのか。
25	事務局	動画ではなく、その日の診察のまま。杉生診療所受診でオンライン希望する人は、まず、せいふうクリニックで医師の診察を受け、「あなたはオンライン診療を受けて良い」と許可された人が対象になる。新たにオンライン診療を受ける場合は一旦せいふうクリニックで診察の必要がある。杉生でオンライン診療を受けると決めたが、先生と直接話したいという人は対面に変わることが可能で、せいふうクリニックに行くことと決めたが、オンライン診療に変わることができるなど、柔軟に対応できている。この後、対面診療を受けた後、オンライン診療に戻るのかせいふうクリニックで直接診療受けると言われるのか、変わってくると考える。
26	D委員	実証実験の中で、血圧が高かったり、熱がないと思って来たら熱があったなどの場合に、オンライン診療から急遽対面に変わる人はいたか。

第2回 猪名川町北部地域医療のあり方検討委員会議事録要旨

27	事務局	11月にはない。1人熱があり、体調が悪く頭が痛いと言った人はいた。その人には説明して、次の日にせいふうクリニックを受診するか本日、他の医療機関で受診するかの説明を行った。
28	D委員	杉生診療所がかかりつけの患者でなくても、一度せいふうクリニックで初診対応してもらい、慢性疾患だからオンラインでOKという人の受入れは、今の実証実験の段階でも可能か。
29	事務局	可能である。
30	E委員	今後の課題という話になると思うが、実証実験という言葉から町の施策で診療所のオンライン診療が定着する、伸びていく。ビジネスとしてもペイしていくところを見越した、今後の流れとして実証実験が実証実験ではなく、レールに乗るのかどうか、乗せていくためには何をしたらいいのか、大変興味のあるところであるため私たち住民に知らせてもらえることを切に望みます。個人的な知り合いとの立ち話の中で、北部医療について話をするとお年寄りのフォローの側面ばかりが話題に上がるが、例えば何歳でも慢性的な疾患で、日々通院に苦労している人がおられる。アンケートを見てもボリュームゾーン平均は75歳の人たち、実際にこの診療所に訪れる人の数を見てても、月平均で大体60人前後。定期的な診療を受けられることからいくと、若年層にもこうしたシステムがしっかりと機能するタイミングがあると思う。そうしたことも踏まえ今後の課題として、考えていけたらと思っている。
31	事務局	(2) 令和7年度のオンライン診療の継続等を含む北部医療について説明。オンライン診療開始が11月からのため、今後の継続可否を含めた評価はできかねると思っている。オンライン診療は直接(対面)診療と組合わせて受けるため、組合わせて受診することの感想も含めて考えている。オンライン診療と直接(対面)診療を組み合わせた2クール経過が7月頃になるため、それ以降にアンケートをとり、その結果等を踏まえ、この検討委員会で検討したい旨説明。
32	D委員	オンラインをして2クールですね。
33	事務局	1クールは3月後半から4月頃で、そのあと対面を受ける。その後、対面が良い人、オンラインで良い人、また対面と組み合わせる受診方法が負担になるのかどうか等、色々な側面があると感があるので2回程実施して、それ以降にアンケートをとり、その結果等を踏まえて、検討委員会でご検討いただきたい。
34	D委員	その進行でよい。
35	事務局	あり方検討委員会の委員任期が令和7年5月31日となっているため、令和7年度に各選出団体は、選出依頼をすること、また、伝えておいて欲しい旨説明。補足で、次のステップへの意見をもらったが、患者側・せいふうクリニックと一定の期間体験いただき、双方の意見などを3クール目でアンケートをとることになり、大体1年程度になる。一旦一年程度を目途に実証実験の形をとり、その結果をふまえて、そのあとの対応を考えたい旨説明。
36	B委員	オンライン診療を例えば見学させてもらうことは可能か。
37	事務局	実際の診察を見るのは難しい。現時点では患者の傍には看護職のみ。ただ、診察時間以外で、やりとりなど医師に協力いただければ見せてもらえる。薬だけもらいに来ると言う方、自分で車に乗る人も、何かあれば、せいふうクリニックに行くが薬だけを杉生診療所にもらいに来ている人もいる。
38	F委員	聞こえにくいことが気になるが、イヤホンを使用してのオンライン診療はできないのか。
39	事務局	イヤホンを患者がすると看護師が聞こえなくなるので、そこが難しい。イメージとしては、こういう会議で、オンラインで参加されてる方の発言されてるのを聞くという感じである。
40	D委員	本日の意見をふまえて、令和7年度検討委員会で進めていって欲しい。各委員は継続するか、退任の場合が引き継ぐかをお願いしたい。
41	E委員	引き続き、この問題について議論して町に要望していきたい。